

クラス番号	601	担当教員名	角崎洋平
テーマ	公共政策の目的を問い直し、福祉社会のあるべき姿について考える		
著書・論文 研究課題等	著書：『正義（福祉＋αシリーズ）』（共著）ミネルヴァ書房、2016年。 ：『マイクロクレジットは金融格差を是正できるか』（共著）ミネルヴァ書房、2016年 ：『フードバンク：世界と日本の困窮者支援と食品ロス対策』（共著）明石書店、2018年 ：『ロールズを読む』（共著）ナカニシヤ出版、2018年 研究課題：①責任概念と時間射程を考慮した平等主義的正義論の構築 ②生活困窮者等を対象とした家計相談支援、金融包摂、資産ベース福祉の在り方		

ゼミナール概要

キーワード：公共政策・社会政策・経済政策・社会保障・財政・政策過程・政策評価・政策規範・社会正義

目的・内容・方法

わたしたちのまわりには、たくさんの公共政策（社会政策・経済政策・秩序政策・外交政策）が存在します。そうした公共政策は、何を目的に実施されているのでしょうか。その目的は達成されているのでしょうか。そしてそもそもその目的は、わたしたちが望ましいと考える目的なのでしょうか。本ゼミでは、公共政策の目的に深く迫ることで、福祉社会のあるべき姿について考察していきます。

参加するゼミ生のみなさんには、公共政策の目的に迫る下記の三つの研究方法を学んでもらい、政策を評価したり批判したり、ときには構想したりする力を身に付けてもらいたいと考えています。

（１）政策過程研究——その政策は何を目的とした政策なのか？

特定の社会政策や経済政策が、なぜ「誕生」し「存在」してきたのか、またはなぜ「存在してこなかったのか」を資料等に基づき明らかにし、政策の目的と、政策をめぐる社会的・政治的背景を考察します。

（２）政策評価研究——その政策の目的は達成されているか？

特定の社会政策や経済政策の目的を確認したうえで、その目的が効果的に達成されているか否か、達成されてないとするれば何が障壁か、を調査や統計データを分析することによって明らかにします。

（３）政策規範論（社会正義論）研究——その政策の目的はそもそも妥当か？

公共政策の目的を社会正義の観点から問い直し、そうした問い直しを踏まえて、福祉社会にとって望ましい社会政策や経済政策、そして、政治・経済・財政システムの在り方について考えます。

この三つの方法を使って具体的に取り上げるテーマについては、参加するゼミ生一人ひとりの関心に応じて決めます。テーマは公共政策に関するものであれば何でもよいです。たとえば、現在のゼミ生は「医療保障制度」「セーフティネットの在り方」「ベーシックインカム制度」「児童虐待対策」「臓器移植法制」「NPO 支援」などのテーマに取り組んでいます。

授業計画

3年生前期：①文献を輪読しディスカッションも行いながら、公共政策についての研究方法を学ぶ。

②原則として角崎が担当する講義科目である「社会福祉政策論」「福祉行財政論」を履修し、公共政策や行財政システムについての基本をしっかりと勉強する。

3年生後期：関心ある研究テーマを各自が報告し、具体的な卒業論文の課題と研究方法を明確にする。

※ 上記とは別に、3年次前期より各自関心のある本・論文についての読書レポートを提出してもらう（2か月に1回をめぐり年間6つ）。これにより卒業論文執筆に向けた準備を3年次から確実に進めていく。

3年終了時：各自が自身の就職活動・各種試験の予定を踏まえて「卒業論文執筆計画」を作成し、提出する。

4年生：自身の「卒業論文執筆計画」に基づき、計画的に卒業論文の内容をゼミで報告し、完成させる。

担当教員からのメッセージ



将来公共政策に何らかの形で携わりたいと考えている学生（公務員志望の学生を含む）や「福祉」の在り方に疑問を持ち始めている学生、また経済や金融・財政の観点から福祉社会について考えてみたい学生を歓迎します（担当教員は経済学部出身で政府系金融機関勤務経験もあります）。「公共政策」について学ぶことは、将来公共政策に携わる際にはもちろん、市民やソーシャルワーカーとして行政に対峙する際にも役に立つと思っています。

なお4月に正式にゼミが始まる前に、一度ゼミ生と顔合わせ会を実施する予定にしています。メールで連絡しますので念頭に置いておいてください。